

ちかし REPORT

県議会議員「齊藤ちかし」が故郷の明日を考える。

VOL.12
2024.3月発行

みんなの
声に
動く



齊藤ちかし事務所

〒036-1312
青森県弘前市大字高屋字福田66-1
TEL 0172-82-3202
FAX 0172-82-3103



事務所外観



活動日誌

2023年
2024年

次世代を担う子供たちが
故郷に誇りと愛情を持って
暮らせる街にしたい



令和5年
1月
20日 議会運営委員会
各常任委員会

令和5年
2月
3日 原子力・エネルギー対策
特別委員会

令和5年
2月
20日 議会運営委員会
(2月20日～3月17日)

令和5年
2月
21日 各常任委員会

令和5年
2月
22日 第313回定例会開会
(2月22日開会～3月17日閉会)

令和5年
3月
9日 予算特別委員会(組織会)
(3月9日開会・3月13日閉会)

令和5年
5月
19日 各常任委員会

令和5年
6月
21日 各常任委員会

令和5年
7月
6日 第314回定例会開会
(7月6日開会・7月24日閉会)

令和5年
7月
12日 議会運営委員会
(7月12日～7月24日)

令和5年
7月
20日 各常任委員会

令和5年
7月
27日 総務企画危機管理委員会県内調査
(28日まで)〔中南・西北地区〕



令和5年
8月
21日 各常任委員会

令和5年
9月
13日 総務企画危機管理委員会県内調査
(14日まで)〔三八・上北地区〕

総務企画危機管理委員会は、三八・上北地区において調査を実施しました。コワーキングカフェエスタシオン(八戸市)では、まちづくりに向けた取組概要について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。八戸酒造株式会社(八戸市)では、地域の活性化に向けた取組概要について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。おいらせ町神山防災タワー(おいらせ町)では、津波避難施設の概要について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。県立三沢航空科学館(三沢市)では、施設の概要について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。



令和5年
10月
3日 議会運営委員会

令和5年
10月
4日 各常任委員会

令和5年
10月
12日 決算特別委員会
(10月12日～10月16日)

令和5年
10月
24日 総務企画危機管理委員会県内調査
(26日まで)〔東青・下北・北海道地区〕

総務企画危機管理委員会は、東青・下北・道南地区において調査を実施しました。交通政策課から、むつ湾フェリーの航路維持に向けた取組について説明を受け、質疑応答を行いました。リサイクル燃料貯蔵株式会社では、使用済燃料中間貯蔵施設の安全対策について説明を受け、質疑応答を行うとともに、施設を視察しました。津軽海峡フェリー株式会社大間支店では、大間・函館航路の現状について説明を受け、質疑応答を行うとともに、船内を視察しました。北海道工アポート株式会社函館空港事業所では、利用客の推移・利用促進の取組及び地域活性化への貢献について説明を受け、質疑応答を行うとともに、空港内を視察しました。



令和5年
11月

6日 総務企画危機管理委員会県外調査
(8日まで)〔兵庫県・大阪府〕

総務企画危機管理委員会は、兵庫県・大阪府において調査を実施しました。青森空港(青森市)では、株式会社フジドリームエアラインズから、青森線の利用促進について説明を受け、質疑を行いました。人と防災未来センター(神戸市)では、阪神・淡路大震災の経験と教訓について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。淡路市役所(淡路市)では、淡路シエンバラインの利用促進について説明を受け、質疑を行いました。大阪中之島美術館(大阪市)では、大阪中之島美術館の運営におけるPFI事業について説明を受け、質疑を行うとともに、施設を視察しました。

令和5年
11月
20日 議会運営委員会

令和5年
11月
22日 第316回定例会開会
(11月22日開会～12月8日閉会)

令和5年
11月
29日 議会運営委員会
(11月29日～12月8日)

令和5年
12月
6日 各常任委員会

令和6年
1月
19日 各常任委員会

令和6年
1月
30日 議会運営委員会県外調査(31日まで)
(福島県・埼玉県)

議会運営委員会は、福島県(30日)及び埼玉県(31日)において調査を実施しました。福島県議会では、議会運営全般及び議会におけるペーパーレス化の取組状況についての説明を受けた後、タブレット端末操作の体験を行いました。埼玉県議会では、議会運営全般及び議会におけるペーパーレス化の取組状況についての説明を受けた後、タブレット端末操作の体験を行いました。

令和6年
2月
22日 第317回定例会開会
(2月22日開会～3月22日閉会)

令和6年
3月
19日 各常任委員会

議会一般質問 Q & A

令和6年3月 第317回定例会

ちかし POINT

りんご産業の振興について

この数年間をみてみますと、幸いに大きな天災や病害虫被害に見舞われることもなく、比較的安定した生産・販売状況にあり、特に輸出に關しては、生産者の皆様や出荷業者の方々のご努力はもとより、青森県の多大なるご支援によって堅調に推移していると聞き及んでい

ます。しかしながら、一方でりんご産業の将来を考えると、大きな転換期を迎えていると思われ

以前から指摘されている、生産者の高齢化や生産量の確保における高価な肥料の普及はもろろですが、今定例会で多くの議員が指摘されています。モンシロカイガの発生による輸出停止の危険性。そして、今後続くのはと推測される気温上昇の影響などです。

直近の昨年2023年産をみますと、予想収穫量は43万6700tとほぼ昨年並みと公表されましたが、猛暑の影響である収穫前の落下や、着色不良などにより、良品の減少が見受けられ、収穫量は予想よりかなり少なかったように思われます。

12月末の県産りんごの産地在庫数も、原簿の調査方法が開始された1997年以降の26年間で最少の15万3600tと昨年対比24%減少しており、気候変化における生産量・品質への影響が懸念されることにも、一部では昨年の猛暑の影響が、今年生産量・品質にも影響し続けていると懸念されています。

りんご産業が青森県の基幹産業の一つとして、これらも持続的かつ発展的に展開されるためには、気候変化に対する対応や、国内販売・輸出対策強化・販路拡大などが必要であると思

ちかし POINT

令和6年能登半島地震を踏まえた本県の災害対応について

今年の元旦1月1日は、まさに1年の始まりであり、新しい年の始まりを日本が迎えていた日の16時10分頃に突如発生した能登半島地震は、最大震度7の揺れを観測し、大規模な火災の発生、家屋の倒壊・断水や道路の寸断など甚大な被害をもたらした。死者数がこれまで241人のほり、未だ安否不明者もいら

っしゃいます。地震発生から2ヶ月経過した現在も、1万1400名余の方が避難所における生活を余儀なくされており、このうち4700名余の方が地元を離れて宿泊施設に2次避難をされています。

これまでの被害報道をみますと、帰省中正月料理を囲んで家族水入りの最中に突然揺れに襲われ、家屋が倒壊し、下敷きになった家族の助けを求め声を頼りに、口にくわえたスマートフォンを明かりで、のこぎりや鎌を切断しながら、ようやく奥さんと息子を救出出来たという、とゆうような身にたまる悲しい現実がありました。

亡くなった方々の死因の4割が家屋倒壊などによる圧死であった事も教訓とすべきであると思



そこで、高温に対応したりんごの品種開発の状況についてお伺いいたしま

すとともに、品種開発を担う県産技術センターりんご研究所の建て替え機

能強化についてお伺いさせていただきます。あわせて2023年産りんごの国内

販売状況及び、消費宣伝対策・輸出促進についても伺いた

します。

1 質問 建て替える県産技術センターりんご研究所について、どのような機能を強化していくのかお伺い

たい。

1 質問 県産技術センターりんご研究所については、日本唯一のりんご専門の研究機関であり、研究開発から情報発信に至る拠点として、施設や研究機能を充実させていくと思

います。具体的には、品種特性の迅速な判別に必要な遺伝子解析室や、貯蔵性を調査するCA冷蔵室を整備し、新品種を早期に開発していくほか、人工気象室を設置し、気候変動への対応を検討し

ます。さらには、研修生や地域学生を受け入れるなど、将来の本県りんご産地を担う人材の育成に加え、県外に向けて本県のりんご産業の情報を発信する

りんご産業観光の拠点としての活用を有識者会議等を設置して検討してい

きます。私としては、国内はもとより、世界へのりんご研究をリードするりんごインベリションセンターとして、その機能を發揮できるように、整備を進めたいと

考えています。

1 質問 県産技術センターりんご研究所について、どのような機能を強化していくのかお伺い

たい。

1 質問 県産技術センターりんご研究所については、日本唯一のりんご専門の研究機関であり、研究開発から情報発信に至る拠点として、施設や研究機能を充実させていくと思

います。具体的には、品種特性の迅速な判別に必要な遺伝子解析室や、貯蔵性を調査するCA冷蔵室を整備し、新品種を早期に開発していくほか、人工気象室を設置し、気候変動への対応を検討し

ます。さらには、研修生や地域学生を受け入れるなど、将来の本県りんご産地を担う人材の育成に加え、県外に向けて本県のりんご産業の情報を発信する

りんご産業観光の拠点としての活用を有識者会議等を設置して検討してい

きます。私としては、国内はもとより、世界へのりんご研究をリードするりんごインベリションセンターとして、その機能を發揮できるように、整備を進めたいと

考えています。

1 質問 県産技術センターりんご研究所について、どのような機能を強化していくのかお伺い

たい。

防災危機管理課

本県は、今般の能登半島地震において、国の応急対策職員派遣制度に基づき、富山県射水市への対口支援団体として、1月11日から30日までの間、罹災証明書発行に必要となる住家被害認定調査に、県職員と市町村職員合わせて延べ451人・日を派遣しました。

具体的な活動内容としては、射水市の職員1名と本県からの派遣職員2名の3名がチームとなって、地震で被災した住宅の外観、及び内装、柱、床

建具等の内部の被害の程度を調査し判定するものであり、574件の調査を実施しました。

1 質問 派遣職員からは、支援の観点から、被災時に速やかに住宅被害の認定調査

を行い罹災証明書の発行に繋げるためには、自治体として家屋の図面の事前

の整備等が必要であること、平時からできるだけ多くの職員に実地研修等を受

講させることで、スキルの上向上に努める必要があること、などの意見が

ありました。県としては、これら派遣職員の被災

地支援の振り返りや頂いた意見を参考に、今後の被災地支援への充実や本県

での大規模災害発生時の受援対応に生

かして行きたいと考えています。

1 質問 派遣職員からは、支援の観点から、被災時に速やかに住宅被害の認定調査

を行い罹災証明書の発行に繋げるためには、自治体として家屋の図面の事前

の整備等が必要であること、平時からできるだけ多くの職員に実地研修等を受

講させることで、スキルの上向上に努める必要があること、などの意見が

ありました。県としては、これら派遣職員の被災

地支援の振り返りや頂いた意見を参考に、今後の被災地支援への充実や本県

での大規模災害発生時の受援対応に生

かして行きたいと考えています。

1 質問 派遣職員からは、支援の観点から、被災時に速やかに住宅被害の認定調査

を行い罹災証明書の発行に繋げるためには、自治体として家屋の図面の事前

の整備等が必要であること、平時からできるだけ多くの職員に実地研修等を受

講させることで、スキルの上向上に努める必要があること、などの意見が

公立学校における働き方改革について

教職員の長時間勤務などの働き方の改善は、以前から指摘され続けています。議会においても幾度となく問題として取り上げられてきました。しかしながら、これまでは抜本的な改善はされておらず、教職員の皆様に負担を強いっている現状であるとおも

います。その働き方が影響して採用試験の応募者も年々減少していると思

います。ある小学校教員の家族から相談を受け

た内容ですが、帰宅時間がほぼ毎日20時過ぎ頃であり、さらには帰宅後も

仕事を自宅に持ち込んでいたことがあ

ります。退勤の手續きをした後も、職場で仕事をこなしている、教員も同様の

夢をかなえ動かしきれない、精神的にも、体力的にも限界で退職したい

とのことでした。2022年度における教員の精神疾

患による休職が過去最多を記録するなど、教職員の働き方改革は早期に実施

しなければ、学びの場の崩壊につながりかねない、重大な問題です。

教育長は、現状の教職員の働き方の実態をどのように認識され、公立学校

における働き方改革の早期推進に向け、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

1 質問 公立学校における働き方改革の推進に向けて、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

1 質問 公立学校における働き方改革の推進に向けて、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

1 質問 公立学校における働き方改革の推進に向けて、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

1 質問 公立学校における働き方改革の推進に向けて、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

1 質問 公立学校における働き方改革の推進に向けて、学校DXの推進や外部人材の活用

についてどのように取り組むのかお伺いさせていただきます。

子どもみらい課

児童相談所が行う一時保護の可否の判断は、平成25年8月厚生労働省改正通知「子ども虐待対応の手引き」で示

されています。具体的には、当事者であることもが保護を求めている場合や、既に重大な

ケガが生じている場合等は、ことも一時保護が適当であることと判断し、児童

相談所は速やかにこの一時保護を行います。

1 質問 児童相談所が行う一時保護の可否の判断は、平成25年8月厚生労働省改正

通知「子ども虐待対応の手引き」で示されています。具体的には、当事者であることもが

保護を求めている場合や、既に重大なケガが生じている場合等は、ことも一時

保護が適当であることと判断し、児童相談所は速やかにこの一時保護を

行います。

2 質問 八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

八戸市で発生した児童死亡事案の概要について伺いたい。

子どもみらい課

令和6年1月7日、浴槽内でうつぶせになって倒れている女児が発見され、その後死亡が確認されるという事案が発生しました。

八戸警察署は、女児の母及び母の内縁の夫が共謀の上、女児を浴室に連れ込んで水を浴びさせて放置し、低体温

症による急性循環不全によって死亡させた疑いがあるとして、令和6年2月15日、傷害致死の疑いで母及び母の内縁の夫を逮捕しました。

1 質問 本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

本事案の発生を受けて、県としては今後どのように取り組んでいくのか伺いたい。

<齊藤ちかし・略歴>

- 昭和45 (1970) 年生まれ
- 平成元年弘前高等学校卒業
- 旧岩木町議会議員1期
- 弘前市議会議員1期
- 青森県議会議員4期
- 青森県議会 総務企画危機管理委員会
- 議会運営委員会 (副委員長)
- 原子力・エネルギー対策特別委員会 (副委員長)
- 岩木山観光協会会長
- 岩木山商工会理事
- 津軽中学校同窓会会長
- 岩木ソフトボール協会会長
- NPO法人 津軽弁協会理事

皆様のご意見ご要望を
齊藤ちかしまでお寄せください